

平成 26 年 12 月 25 日

専門委員会開催報告

| | |
|--------|---|
| 専門委員会名 | 第 3 回「福島第一原子力発電所事故により発生する放射性廃棄物の処理・処分」特別専門委員会 |
| 開催日時 | 平成 26 年 12 月 24 日（水）13:30～17:00 |
| 開催場所 | 公益財団法人原子力環境整備促進・資金管理センター 会議室 （東京都中央区月島 1-15-7、パシフィックマークス月島 8F） |
| 参加人数 | 委員 13 名（朽山主査、井口委員、大浦委員、小畑委員、河西委員、桐島委員、黒田委員（代理坂下）、小崎委員、佐々木委員、佐藤委員、塩月委員、高橋委員、田辺委員）、他オブザーバー及び説明者 22 名 |
| 議 事 | <p>1. 審議事項</p> <p>（1）東京電力株式会社福島第一原子力発電所の近況について 東京電力株式会社福島第一原子力発電所の近況について報告があった。</p> <p>（2）本委員会で議論する範囲および検討に当たっての視点について</p> <ul style="list-style-type: none">・廃棄物対策の流れと、評価対象核種や重要核種等の関係・廃棄物対策の主要な段階における核種選定の必要性・処分の安全評価における評価対象核種の選定に関する進め方 <p>上記 3 点に重点をおいた議論が行われた。</p> <p>（3）処分の安全評価の起点とする核種および国内外の放射性廃棄物の処分における評価対象核種の選定の考え方（調査結果）</p> <p>暫定的な評価対象核種の設定について提言。また、国内外の放射性廃棄物の処分における評価対象核種の選定の考え方について国内は六ヶ所村ピット埋設事業等、国外はフランス、イギリスの浅地中処分及び地層処分における評価核種選定の考え方等が報告され、暫定的な評価対象核種の選定について重点をおいた議論が行われた。</p> <p>（4）1F 廃棄物の評価対象核種の選定に向けた処分の安全性の考え方および進め方について</p> <ol style="list-style-type: none">①本年度の処分の安全性の観点からの評価対象核種の選定に向けて、暫定的な情報に基づき安全評価の進め方。②今後、性状把握、処分概念、安全評価手法、規制の考え方等の整備の進展に応じて処分の安全性の観点から評価対象核種の選定の考え方。 <p>上記に関する議論が行われた。</p> <p>2. その他</p> <p>事務局より第 4 回を平成 27 年 1 月 22 日（木）午前及び第 5 回を平成 27 年 2 月 18 日（水）午後に開催するとの連絡があった。</p> |
| 備 考 | |

平成 27 年 1 月 6 日

専門委員会開催報告

| | |
|--------|---|
| 専門委員会名 | 第 2 回「福島第一原子力発電所事故により発生する放射性廃棄物の処理・処分」特別専門委員会 |
| 開催日時 | 平成 26 年 11 月 27 日(木)10:00~12:00 |
| 開催場所 | 公益財団法人原子力環境整備促進・資金管理センター 会議室 (東京都中央区月島 1-15-7、パシフィックマークス月島 8F) |
| 参加人数 | 委員 9 名(朽山主査、井口委員、小畑委員、河西委員、黒田委員、小崎委員、塩月委員、高橋委員、田辺委員、)、他オブザーバー及び説明者 21 名 |
| 議 事 | <p>1. 第二回特別専門委員会の審議事項</p> <p>(1)放射性廃棄物の処理・処分に係る技術開発及び特別専門委員会の審議内容について</p> <p>放射性廃棄物の処理・処分に係る技術開発及び特別専門委員会の審議内容について説明があり、議論により、本年度審議内容の詳細を具体化するため以下を確認した。</p> <p>①本検討の目的は、評価対象核種の選定方法(案)の検討を行い、将来適切な、評価対象核種を確定することが可能な手法の構築。</p> <p>②本検討の進め方として、既存の処分概念及び既存の評価対象核種の選定方法を起点として、事故の進展を考慮した各廃棄物のインベントリの推定に基づいた核種の選定方法について議論することとした。議論に当たっては、諸外国における考え方、最新の廃棄物の分析結果等を加味して、これまでの考え方の適用性を検討するとともに、東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故により発生した放射性廃棄物の特徴を踏まえた考え方を模索することとした。</p> <p>(2)廃棄物に係わる分析について(報告)</p> <p>東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故により発生した放射性廃棄物の分析結果(概要)について説明があり、現状の分析結果からの課題及び今後の分析計画の方向性等の議論が行われた。</p> <p>(3)廃棄物インベントリ</p> <p>東京電力株式会社福島第一原子力発電所事故により発生した放射性廃棄物の安全性検討に必要な核種インベントリの推算について説明があり、分析値と推定結果との相関、不確実性の評価、解体時のコンクリート廃棄物の割合等の議論が行われた。</p> <p>(4)その他</p> <p>事務局より第4回及び第5回の日程調整について、後日行うことを依頼した。</p> |
| 備 考 | |

平成 26 年 11 月 5 日

専門委員会開催報告

| | |
|--------|---|
| 専門委員会名 | 第 1 回「福島第一原子力発電所事故により発生する放射性廃棄物の処理・処分」特別専門委員会 |
| 開催日時 | 平成 26 年 11 月 4 日(火)8:00～15:30 |
| 開催場所 | 視察:東京電力株式会社福島第一原子力発電所 会議:J ヴィレッジ会議室(福島県双葉郡楡葉町大字山田岡字美シ森 8 番地) |
| 参加人数 | 委員 12 名(朽山主査、井口委員、出光委員、河西委員、桐島委員、小崎委員、佐藤委員、高橋委員、田辺委員、小畑委員、黒田委員、大浦委員)、他オブザーバー及び説明者 9 名 |
| 議 事 | <p>1. 午前に東京電力株式会社福島第一原子力発電所の視察を東京電力株式会社殿ご協力により行った。</p> <p>2. 午後より第一回特別専門委員会において主査を朽山委員にお願いし、以降の会議進行を依頼した。</p> <p>3. 第一回特別専門委員会の審議事項</p> <p>3. 1 平成26年度特別専門委員会の設立主旨等について 特別専門委員会の設立趣旨、委員名簿および本年度審議内容について説明され、議論により本年度審議内容の詳細を具体化するための議論を、次回行うこととした。</p> <p>3. 2 今後のスケジュールについて 実施項目概要およびスケジュールが説明され、第2回委員会および第3回委員会の日程について、それぞれ11月27日及び12月24日に決定した。</p> <p>3. 3 その他(事務連絡) 事務局より事務手続きについて連絡した。</p> |
| 備 考 | |